



2026 年 8 月 31 日

各 位

株式会社北洋銀行

音威子府村との教育を起点としたまちづくりに関する連携協定について

株式会社北洋銀行（取締役頭取：津山 博恒）は、音威子府村（村長：遠藤 貴幸様）と、教育を起点としたまちづくりを通じて地域経済の活性化を図る包括連携協定を締結しました。

人口約 600 人の小さな村が、人口減少と地域産業の縮小という課題に真正面から向き合い、「学び×地域貢献×起業」を組み合わせた新たなモデルで人口増加に挑戦する取り組みであり、当行はその挑戦に金融機関として伴走します。

音威子府村は、第二の現役期を迎える 50 歳以上を対象に、地域課題の解決策を実践的に学ぶ学校「主人高（しゅじんこう）」を 9 月に開校予定です。最大 25 人が 3 年間学び、地域への貢献や起業に挑戦することで、全国から人材を呼び込み、新たな産業や担い手の創出を目指します。

当行は主人高の立ち上げに際し、教育を起点としたまちづくりを包括連携協定に基づき支援してまいります。具体的には、起業支援や移住促進、空き家の活用、観光振興などを通じて、学びの場で育った人材が地域で活躍できる環境づくりを後押しし、人口の社会増や雇用創出につなげていくことを目指します。

北海道で一番人口の少ない村が全国から人材を集めてイノベーションを起こすことができれば、同様の課題を抱える地域にとって、人口減少に立ち向かう新たな選択肢や具体的なモデルケースを示すことにつながります。

当行は、引き続き、地域活性化に向けた支援を行い、人口減少をはじめとする地域の課題解決に向けた取り組みを進めることで、北海道の持続的な発展に貢献してまいります。

記

1. 連携協定の内容

- (1)教育を起点とした地域経済の活性化に関すること
- (2)住環境の整備を含めたまちづくりの活性化に関すること
- (3)地域産業の振興及び創業・企業誘致の支援に関すること
- (4)観光産業の振興に関すること
- (5)前各号に掲げるもののほか、前条の目的を達成するために必要な事業に関すること

2. 連携協定締結式の様子

北海道で一番小さな村
おといねっぶむら

音威子府村

Make the HOKKAIDO Way

 北洋銀行

左:音威子府村 村長 遠藤 貴幸 様

右:北洋銀行 専務取締役 米田 和志

以 上

《北洋銀行グループ 経営理念》

お客さま本位を徹底し、多様な課題の解決に取り組み、北海道の明日をきりひらく